No.4

連携室だより

第4号

2006.8

目　次

●ー診療連携ー　「薬剤部のご紹介」…… 2

●ーアンケート結果ー　医療連携に関するアンケート…… 4

●ーお知らせー　呼吸器内科診療日…… 6

●ー新入職員紹介ー…… 7

鹿児島市医師会病院

診療連携

薬　剤　部

「薬剤部のご紹介」

薬剤部長
寺師　守彦

はじめに

病院薬剤師の業務は外来患者を中心とした調剤から、入院患者への服薬指導を中心とした病棟活動へと変化し、チーム医療としての役割が重要なものとなってきました。当院でも薬剤師が病棟で活動する時間が多くなり、部員の考え方も患者を中心としたものへと変わってきました。昨年度は、本年５月の病院機能評価受審もあり、業務を根本から見直し手順書やマニュアルを改正し、業務の標準化に務めてきました。また病棟とのケアプロセスに力を入れて、見える薬剤師を目指して活動してきました。

現在の薬剤部について紹介いたします。

当薬剤部は ①患者サービスの貢献 ②正確な調剤 ③適切な情報提供 ④専門性の向上 ⑤チーム医療の実践の５項目を基本方針として業務を行っています。主な業務は調剤、製剤、注射薬供給、抗がん剤の無菌調製、IVH の無菌調製、薬剤管理指導、情報提供、薬品管理です。９名の薬剤師がそれぞれの業務をローテーションで担当し、当直は平成 12 年４月から実施しています。

調剤業務

調剤業務は処方箋から得られた情報を専門家として評価し、処方情報に基づき薬剤を正確に調製する薬剤師の基本となる業務です。当薬剤部では調剤の中でも、特に処方監査と疑義照会の徹底を心がけています。

処方箋が薬剤部に提出されると、まず薬剤師は処方箋上に不備がないか処方監査を行います。不備な箇所がみつかると処方医に確認をとります。これが疑義照会です。疑義照会については薬剤師法第 24 条で「薬剤師は、処方箋中に疑わしい点があるときは、その処方箋を交付した医師、歯科医師または獣医師に問い合わせて、その疑わしい点を確かめた後でなければ、これを調剤してはならない」と定められています。もし薬剤師が薬用量や相互作用を知らずに調剤して、患者に不利益が生じた場合には、薬剤師の調剤行為には注意義務違反があったと判断され過失が生ずることになります。そしてこの過失は一般の人が起こした重過失に相当すると考えられています。新人であっても、ベテランと同等の高い注意義務が要求されています。

処方監査する内容は、薬品名が特定できる記載形式、用法、用量、処方日数、相互作用、配合変化、病名禁忌などです。これらの監査内容は注射箋にも適用されます。注射薬は薬品を混合するため、特に配合変化のチェックが重要となります。

注射薬供給・無菌調製業務

最近では注射薬を取り扱う薬剤師は注射薬の全ての過程において、総合的な薬学的管理を行う必要があるといった観点から、薬剤部で注射薬の混合調製を行う病院が多くなってきました。本年３月から、入院のIVHの無菌調製を手始めに、４月から外来の抗がん剤の無菌調製、５月から入院抗がん剤の無菌調製を開始しました。無菌調製室を設備していただきクリーンベンチと安全キャビネットを設置し、マスク、ゴーグル、ガウン、手袋の完全防備で混合調製を行っています。このことにより、今まで看護師が病棟で混合調製する際に指摘されていた抗がん剤による暴露の危険性がなくなりました。抗がん剤を無菌調製するにあたり、投与計画と処方内容をプロトコールとして登録することによって標準化を行い、医師、看護師、薬剤師が相互に確認できる体制となりました。

薬剤管理指導業務

薬剤管理指導はコンプライアンスの向上、副作用の早期発見、使用法の間違いを回避、薬理効果のチェック等を目的に行う入院患者への服薬指導業務です。薬剤師法第25条に「薬剤師は、販売又は授与の目的で調剤したときには、患者又は現にその看護にあたっている者に対し、調剤した薬剤の適正な使用のために必要な情報を提供しなければならない」と規定されており、薬剤師に患者への適切な情報提供を義務付けています。提供する内容は、服薬の目的、薬効、服用方法、副作用の初期症状、薬物間相互作用、飲食物との相互作用、服薬時の注意、飲み忘れた場合の対応などです。

薬品情報提供業務、薬品管理業務、教育研修

医師や看護師からの各種の問合せに対する回答や情報提供も薬剤師の重要な業務（DI業務）です。年間1400件もの質問が病院の内外から寄せられています。最も多い項目は紹介患者の持参薬鑑別です。

当院で取り扱っている薬品数は平成18年３月末現在で1275品目です。その中で後発品は41品目採用されています。年間の医薬品の総購入金額は約８億で、購入金額は抗悪性腫瘍剤、抗菌剤、循環器用剤、X線造影剤、血液製剤の順となっています。薬品の採用･削除は薬事委員会で決定されています。必要な薬品を適正な価格で迅速に供給し、適正在庫に保つことによって病院の経営に貢献することも薬剤部の重要な業務の一つです。

また当薬剤部では教育研修の一環として、会員の先生方の診療所や病院に勤務する薬剤師を対象として、勉強会を実施しています。医師会病院薬物療法研修会という名称で毎月第３火曜日の午後６時からの開催となっています。先生方の病院に勤務する薬剤師の参加をお願いします。

当院に関するアンケート結果について

医療連携室長　武　淳一郎

今回、地域医療に係る当院の役割を再認識し、かつ会員の利用状況や満足度を把握するため、今年４月に「鹿児島市医師会病院に関するアンケート」を実施させていただきました。

締め切りまで２週間という短い期間ではありましたが、168 施設から回答をいただきました。回答率は 30.4％でした。

ここに集計結果を掲載させていただきますので、お目通しくださるようお願いいたします。ご協力いただき誠にありがとうございました。

なお、アンケートの設問にもありましたが、「新設してほしい診療科」で会員の先生方からの要望が一番多かった“呼吸器内科”については、常勤医師の着任に伴い今月16日から外来診療を開始いたします。外来日については、別添の外来週間スケジュール・週間診療案内等を参照いただければ幸いです。

今後も会員の先生方への医療支援をさらに充実させて参りますので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

医師会病院に関するアンケートについて（集計）

医療施設数	553 施設	（平成 18 年４月１日現在）	
回答施設数	168 施設	回答率	（30.4%）

1．医師会病院の利用について

1. 利用している（複数回答あり）	利用している	152 施設	（90.5%）
	1. 検査依頼	113 施設	（74.3%）
	2. 総合診断依頼	80 施設	（52.6%）
	3. 手術、分娩依頼	68 施設	（44.7%）
	4. 入院依頼	114 施設	（75.0%）
	5. その他	5 施設	（3.3%）
2. 利用していない		16 施設	（9.5%）

2．当院との患者さん受入れや連携について

1. スムーズで満足している	136 施設	（81.0%）
2. 対応に不満がある	10 施設	（6.0%）
3. 未回答	22 施設	（13.1%）

3．共同指導について

1. よく実施している	32 施設	（19.0%）
2. あまり実施していない	113 施設	（67.3%）
3. 未回答	23 施設	（13.7%）

4．症状・経過連絡書について

1. スムーズで満足している	137 施設	（81.5%）
2. 対応・内容に不満がある	4 施設	（2.4%）
3. 未回答	27 施設	（16.1%）

5．医師会病院の診療科（特殊外来を含む）について

新設してほしい診療科はありますか

1. ある		86 施設	（51.2%）
具体的な診療科名（複数回答あり）	呼吸器内科	21 施設	（24.4%）
	整形外科	19 施設	（22.1%）
	脳神経外科	13 施設	（15.1%）
	耳鼻咽喉科	11 施設	（12.8%）
	皮膚科	7 施設	（8.1%）
	眼科	7 施設	（8.1%）
	泌尿器科	7 施設	（8.1%）
	総合診療科	4 施設	（4.7%）
	小児外科	3 施設	（3.5%）
	一般内科	3 施設	（3.5%）
	血液内科	2 施設	（2.3%）
	膠原病科	2 施設	（2.3%）
	内分泌科	2 施設	（2.3%）
	糖尿病科	2 施設	（2.3%）
	総合救急科	2 施設	（2.3%）
	透析科	2 施設	（2.3%）
	精神科	2 施設	（2.3%）
	心療内科	2 施設	（2.3%）
	新生児科	2 施設	（2.3%）
	形成外科	2 施設	（2.3%）
	呼吸器感染症科	1 施設	（1.2%）
	胸部外科	1 施設	（1.2%）
	リウマチ科	1 施設	（1.2%）
	肝臓内科	1 施設	（1.2%）
2. 現在のままで良い		66 施設	（39.3%）
3. 未回答		16 施設	（9.5%）

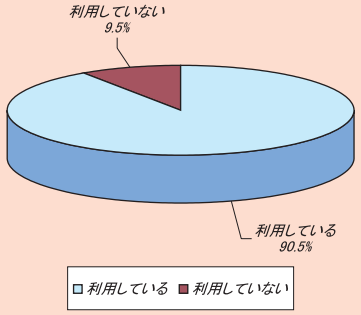
6．医師・看護師の対応について

1. 満足している	145 施設	（86.3%）
2. 対応に不満がある	5 施設	（3.0%）
3. 未回答	18 施設	（10.7%）

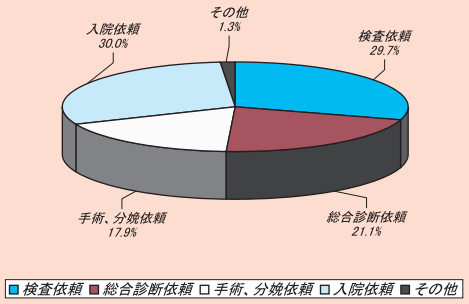
7．技師・事務等の対応について

1. 満足している	147 施設	（87.5%）
2. 対応に不満がある	1 施設	（0.6%）
3. 未回答	20 施設	（11.9%）

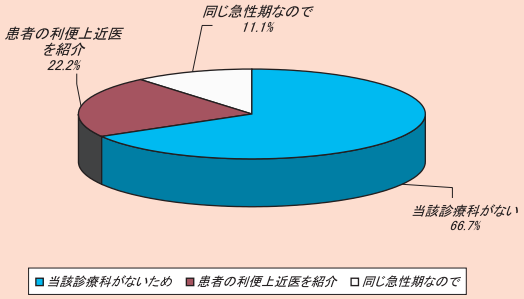
1. 医師会病院の利用について



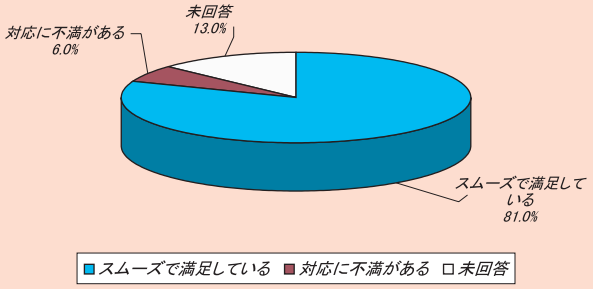
1－1. 利用していると回答した医療施設の依頼内容



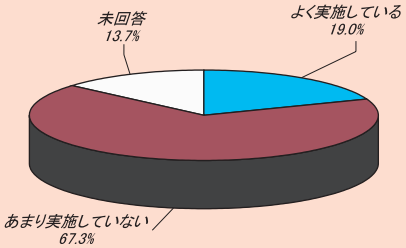
1－2. 利用していないと回答した理由



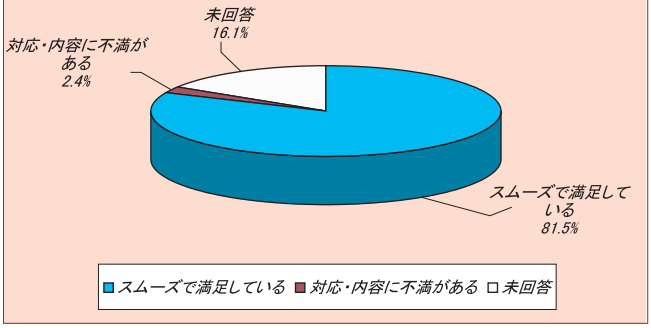
2. 患者受け入れや連携について



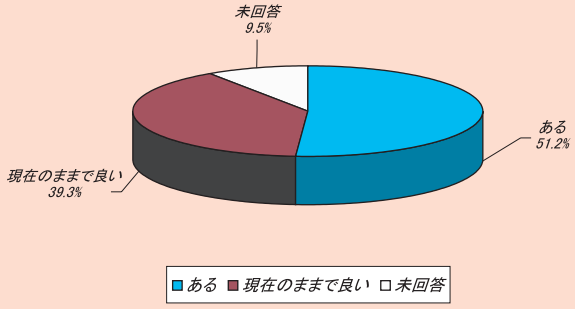
3. 共同指導について



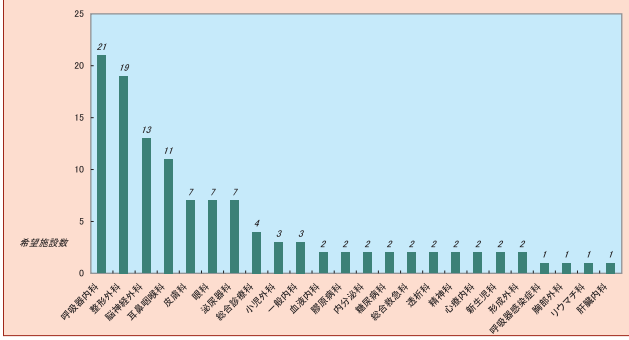
4. 症状・経過連絡書について



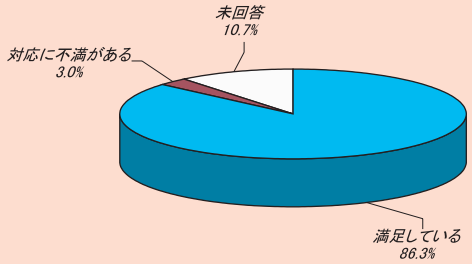
5. 新設してほしい診療科はありますか



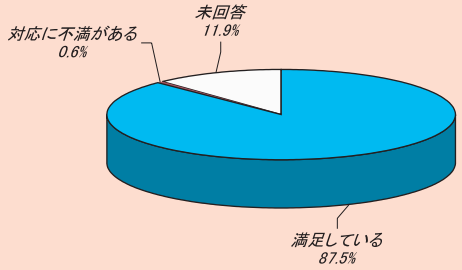
5－1. 新設してほしい具体的な診療科名



6. 医師・看護師の対応について



7. 技師・事務等の対応について



お知らせ

呼吸器内科診療日のお知らせ

会員の先生方よりご要望のありました呼吸器内科外来診療を、当該診療科の常勤医師２人の着任に伴い、下記のとおり開始することとなりました。

呼吸器内科疾患等の患者様を通じた医療連携の推進が図ることができれば幸いです。

患者様のご紹介方、よろしくお願いいたします。

なお、ご不明な点につきましては、医師会病院外来窓口（電話：254-1125 内線 223、227）までご連絡ください。

記

診療開始日　　平成18年８月16日（水）

外来診療日　　毎週　水・金

（＊受付時間、ご紹介方法等は従来どおり）

常 勤 医 師　　濵﨑　哲郎、貞村　ゆかり

※急患について…８月１日付けで呼吸器内科医師２人が常勤していますので、急患の診療等については、電話等で呼吸器内科にご照会くださるようお願いします。

【 基本理念 】

患者様の意思と権利を尊重し、会員や地域の医療ニーズに応え、安全で質の高い誠実な医療を提供します。

【 基本方針 】

1）医療を通じて地域社会への貢献
2）救急医療の推進
3）専門性を追求した高度医療の実践と連携の強化
4）予防医学と医療人教育

新入職員（新任医師）紹介

神経内科医長

＜プロフィール＞

（H 18. 4. 1～）

名　　前　中川　広人

診 療 科　神経内科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成３年卒）

前勤務先　福井大学医学部附属病院

趣　　味　スキー、読書

諸事情により子供二人を連れて実家に帰ってきました。12 年ぶりの鹿児島で都会になっていて浦島太郎状態です。土日とかたまに子供たちも病院に出没しますが、やさしくしてやってください。よろしくお願いします。

放射線科医長

＜プロフィール＞

（H 18. 7. 1～）

名　　前　佐藤　昌之

診 療 科　放射線科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 14 年卒）

前勤務先　県民健康プラザ鹿屋医療センター

趣　　味　釣り

皆様のお役に立てるような放射線科医になりたいと思います。よろしくお願いします。

消化器内科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 4. 1～）

名　　前　那須　雄一郎

診 療 科　消化器内科

出 身 県　宮崎県

出身大学　鹿児島大学（平成 13 年卒）

前勤務先　鹿児島大学病院

趣　　味　旅行

６ヵ月間と短いですが、よろしくお願いします。

外科医長

＜プロフィール＞

（H 18. 7. 1～）

名　　前　東　泰志

診 療 科　外科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　久留米大学（平成３年卒）

前勤務先　（財）昭和会今給黎総合病院

趣　　味　サーフィン、ラグビー

11 年ぶりに医師会病院にお世話になることになりました。色々な病院に出張して、また原点に戻ってきた感じがします。忙しいと思いますが、いつも楽しく仕事をしていきたいと思います。よろしくお願いします。２年ほど前から surfing はじめました。同じ趣味を持つ方、声を掛けてください！一緒に波乗りに行きましょう！

循環器内科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 7. 1～）

名　　前　安﨑　和博

診 療 科　循環器内科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 16 年卒）

前勤務先　鹿児島大学病院

趣　　味　ドライブ

よろしくお願いします。

外科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 4. 1～）

名　　前　重久　喜哉

診 療 科　外科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 14 年卒）

前勤務先　鹿児島大学病院

趣　　味　最近は２歳になった娘の相手をするのが楽しみです。

頑張ります、よろしくお願いします。

小児科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 4. 1～）

名　　前　宮園　明典

診 療 科　小児科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 16 年卒）

前勤務先　県立姶良病院

趣　　味　映画・音楽鑑賞

卒後臨床研修を終え、小児科医として歩み始めました。一歩一歩着実に進んでいこうと思います。よろしくお願いします。

麻酔科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 4. 1～）

名　　前　松林　理

診 療 科　麻酔科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 12 年卒）

前勤務先　（財）昭和会 今給黎総合病院

趣　　味　読書

よろしくご指導ください。

麻酔科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 5. 1～）

名　　前　東　亮子

診 療 科　麻酔科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 15 年卒）

前勤務先　鹿児島大学病院

趣　　味　旅行・おいしいものを食べること

よろしくお願いします。

麻酔科医師

＜プロフィール＞

（H 18. 7. 1～）

名　　前　岩川　昌平

診 療 科　麻酔科

出 身 県　鹿児島県

出身大学　鹿児島大学（平成 16 年卒）

前勤務先　鹿児島大学病院

よろしくお願いします。

鹿児島市医師会病院　連携室だより　No. 4

発行日：平成 18 年 8 月 10 日　（年 3 回　4・8・12 月発行）

発行者：〒 890 － 0064　鹿児島市鴨池新町 7 番 1 号

鹿児島市医師会病院　院長　山口　淳正

担　当：医療支援部　医療連携室

ＴＥＬ：099 － 254 － 1125（代表）

ＴＥＬ：099 － 254 － 1121（連携室直通）

ＦＡＸ：099 － 254 － 1308（連携室直通）

ホームページ：http://www.minc.ne.jp/kasiihp/

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください。